

# こどもサポート証券ネットについて



当社ではSDGs推進に向けた取組みの一環として、証券会社と子供を支援するNPO法人等を結ぶプラットフォーム「こどもサポート証券ネット」への参加を通じて、子供の支援に取り組んでいます。

## 問題の背景

### 日本における子供の貧困の現状

- ◆ 日本の子供の相対的貧困率は**13.5%**（約7人に1人）
- ◆ 他のOECD加盟国と比較しても**高水準**
- ◆ 貧困が世代を超えて連鎖し、格差が固定化する「**貧困の連鎖**」が発生

#### 【相対的貧困とは？】

- ・ある国や地域の大多数よりも貧しい状態
- ・OECDの基準によれば、等価可処分所得が中央値の半分の相対的貧困ライン※を下回る状態 ※日本の場合、127万円（2019年）

#### <相対的貧困の子供の生活実態（例）>

- ✓ 十分な食事が摂れない
- ✓ 医療費を払う余裕がなく医療機関の受診を控えているために虫歯が多い
- ✓ 自宅に勉強をするスペースがない

⇒外からは貧困状態であることが分かりにくい

⇒この日本で子供の貧困？と見過ごされがちですが、日本においても、生まれ育った環境によって、教育の機会が得られない子供たちや健やかな成長に必要な衣食住が確保されていない子供たちが存在します。

## 子供の貧困を放置するとどうなるの？

- ◆ 「**貧困の連鎖**」によって、子供の無限の可能性が失われます。
- ◆ 日本の未来を支える子供が、支えられる側になり、人材減少、市場縮小、社会保障費増大ほか、「**社会的な損失**」につながります。

証券業界では、子供の貧困問題への取組みを【未来への投資】と捉え、継続的に子供たちへの支援を行ってまいります！

# 「こどもサポート証券ネット」概要

## 目的

証券会社の提供できるリソースを子供の支援に向けた活動に有効活用することにより、我が国における子供の貧困問題の解決に資することを目的とする。

## 仕組み・機能

証券会社は提供できる支援を、NPO法人等は受けたい支援をそれぞれ登録し、相互に登録内容の閲覧や交流ができる仕組み（支援活動等を行いたい証券会社とNPO法人等を繋ぐマッチング機能）



## 「こどもサポート証券ネット」内で授受する支援の内容

- ◆ 物品（株主優待品、災害備蓄品や各社ノベルティ等）  
＜例＞ 米、レトルト・インスタント食品、飲料、菓子などの食品  
文具、日用品、テーマパークのチケット 等
- ◆ 場所（空き会議室等）の貸し出し
- ◆ 人の派遣  
※場所の貸し出し及び人の派遣については、将来的に支援対象とする予定。